

2025.12.24 No.3



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟の土地改良

新潟県土地改良

事業団体連合会



Vol.629

令和7年度 第3号

Contents

北陸四県土地改良事業団体連合会 要請活動	1	令和7年度 全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会	7
新潟県への要請活動	2	令和7年度 北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会	8
第47回 全国土地改良大会 佐賀大会	3	令和7年度 北陸地区農地集団化促進協議会換地技術者研修会	9
2025ため池フォーラム in ひろしま	4	令和7年度 秋の叙勲受章者紹介	9
令和7年度 男女共同参画推進大会 in くまもと	5	連合会日誌	10
令和7年度 北陸ブロック水土里ネット女性理事意見交換会	6	表紙写真紹介	10

北陸四県土地改良事業団体連合会 要請活動

10月27日から28日の2日間、東京都において北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、農林水産省、財務省、自民党本部に対して、令和8年度農業農村整備に関する予算確保に向けた要請活動を行いました。

27日は農林水産省において、松本農村振興局長及び青山農村振興局次長へ、自民党本部においては鈴木幹事長へ要望書を手交しました。

続く28日には財務省において、高橋財務大臣政務官及び宮下主計官へ、要望書を手交しました。

各県の特色や抱える課題等に加え、土地改良事業の成果について事例を交えて説明することで、継続的な事業推進の必要性を伝えました。新潟県はほ場の大区画化とスマート農業の推進、多面的機能支払制度を活用した防災・減災対策への取組事例等について説明を行いました。

四県全体としては食料安全保証の推進のための農業構造転換集中対策に関する別枠予算についても盛り込んだ下記内容を要請しました。

上記のほか、県選出である斎藤衆議院議員、国定衆議院議員、小林参議院議員へも要請活動を行いました。



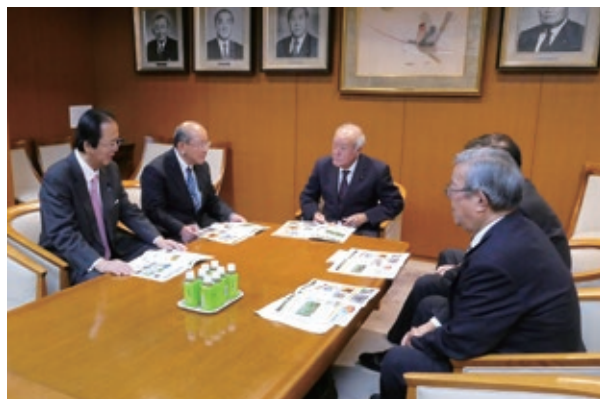
＜ 松本農村振興局長(中央)へ要望書を手交 ＞



＜ 青山農村振興局次長(中央)へ要望書を手交 ＞



＜ 鈴木幹事長(中央)へ要望書を手交 ＞



＜ 鈴木幹事長への要望内容説明の様子 ＞



＜ 高橋財務大臣政務官(中央)へ要望書を手交 ＞



＜ 宮下主計官(中央)へ要望書を手交 ＞

要請のポイント

- 一．食料安全保障を支える北陸地域の農業生産を持続可能なものとする土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。特に、防災・減災、国土強靱化を引き続き推進するため、6月6日に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき十分な予算を確保すること。同じく防災・減災対策としての役割も担う多面的機能支払交付金と中山間地域等直接支払交付金については、活動組織の体制強化や支援範囲の拡大を図るとともに、令和8年度以降も十分な予算を確保すること。
- 二．「令和6年能登半島地震」及び「令和6年奥能登豪雨」により、甚大な被害を受けた北陸地域の農地・農業用施設並びに、農村生活環境施設の復旧・復興を加速化するとともに、災害防止の取組を早急に進めること。あわせて、災害発生直後の初動体制の強化並びに、県、市町村等との連携強化を推進すること。
- 三．国内の農業生産の増大と農業競争力の強化を図るため、地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換、農地の大区画化、汎用化、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四．農村地域の国土強靱化を図るため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五．ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化を図る取組を推進すること。また、地域農業を支える土地改良施設及びその関連施設を一体的に管理保全するための連携管理保全事業を推進するとともに、引き続き、維持管理費に対する支援の強化など、施設を適切に保管理している土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 六．特に、新たな食料・農業・農村基本計画の実効性確保のための農業構造転換集中対策を推進するうえで、土地改良に必要な別枠を含めた必要な予算を確保すること。

新潟県への要請活動

10月20日、新潟県庁において花角新潟県知事及び野中農地部長に対し、令和8年度農業農村整備に関する予算確保に向けた要請書の手交を行いました。施設の老朽化や後継者不足等をはじめとした、農業を取り巻く問題が深刻化していることを改めて認識していただき、対策を講じてもらうため、各地域の事例を交えながら要請を行いました。



＜花角知事(左から5番目)へ要望書を手交＞



＜野中農地部長(左から5番目)へ要望書を手交＞

要請のポイント

- 一．ほ場整備をはじめ、地域の要望に応える農業農村整備事業の予算の確保
- 二．安定した農業生産を支える農業水利施設の維持管理に関する支援の強化
- 三．社会情勢の変化を踏まえた、土地改良区の運営基盤強化に対する支援の強化

第47回 全国土地改良大会 佐賀大会

10月15日、SAGAアリーナ(佐賀県佐賀市)において、第47回全国土地改良大会佐賀大会が開催されました。

この大会は、我が国の農業・農村の更なる発展の向け、農業農村整備の重要性と、それを下支えする「水土里ネット」の役割を再認識することを目的としており、関係者約4,200人が参加しました。

田島佐賀県土地改良事業団体連合会長の挨拶で開会し、二階全国土地改良事業団体連合会会長による主催者挨拶、山口佐賀県知事ならびに坂井佐賀市長による歓迎のことば、笹川農林水産副大臣を始め、宮原佐賀県議会議長、進藤全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問による来賓祝辞がありました。

次に、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰44名が表彰されました。

本県からは、桑原紀夫氏が農林水産省農村振興局長表彰、大平隆氏が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞しました。

その後、青山農林水産省農村振興局次長から「次世代へ、希望をつなぐ土地改良」と題して基調講演、白石土地改良区から「白石地域の農業農村の将来に向けて」と題して事例発表がありました。

最後に、大会宣言、次期開催県紹介・大会旗引継、奥野奈良県土地改良事業団体連合会会長による次期開催県挨拶が行われ、大会は盛会裏に終了しました。



< 進藤全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問 >



< 会場の様子 >

全国土地改良事業功績者表彰 受賞者

農林水産省農村振興局長表彰



くわはら のりお
桑原 紀夫

前 津南郷土地改良区 理事長
前 新潟県土地改良事業団体連合会 監事

全国土地改良事業団体連合会会長表彰



おおだいら たかし
大平 隆

信濃川左岸土地改良区 理事長
新潟県土地改良事業団体連合会 理事

2025ため池フォーラム in ひろしま

10月23日から24日の2日間、広島県及び広島県土地改良事業団体連合会の主催により、「2025ため池フォーラムinひろしま」が開催されました。「ため池フォーラム」はため池の適正管理の手法や保全の取り組み事例を周知すると共に、ため池の防災力強化を図ることを目的とし、平成8年に第1回大会が大阪府で開催され、毎年開催県を変え開催されています。今年は「安全・安心 持続可能な農村地域のため池」をテーマに下記のとおり開催されました。

開会の辞	広島県農林水産局長	向井 雅史
開会挨拶	広島県副知事	山根 健嗣
来賓挨拶	農林水産省農村振興局整備部防災課	課長 中藤 直孝
	全国土地改良事業団体連合会	会長 二階 俊博（代理：主任研究員 二神 健次郎）
	広島県議会	副議長 山下 智之
情報提供	全国ため池等整備事業推進協議会	副会長 進藤 金日子
特別講演	知らないと損する！天気と防災のコツ	
	オフィス気象キャスター（株）	気象予報士 岸 真弓
基調講演	土砂災害防止機能も備えたため池への期待	
	広島大学	名誉教授 海堀 正博
情勢報告	農業用ため池の防災・減災対策について	
	農林水産省農村振興局整備部防災課	課長補佐 浦田 憲
事例発表①	広島県のため池総合対策について	
	広島県農林水産局ため池・農地防災担当	課長 中村 博
事例発表②	広島県ため池支援センターの取組	
	広島県ため池支援センター長	小谷 太志
事例発表③	ため池防災における現状と保護・駆除対応について	
	広島県土地改良事業団体連合会	環境専門監 秋山 浩三
事例発表④	簡易手法を用いた、ため池洪水算定と防災機能算定手法の紹介	
	（公社）土地改良測量設計技術協会	客員フェロー 千原 英司
次回開催県挨拶	岐阜県農政部	次長 若山 幸人
閉会の辞	広島県農林水産局	農林基盤整備担当部長 榎原 敏幸

講演を受け、参加者からは「地域の農業を支えるため池が、老朽化等により危険な箇所となってしまうている。人的被害を出さないための対応が急務であるということについて認識できた。また、農業用ため池や田んぼダムは、国交省など他分野からも豪雨等災害防止機能について期待されていること知り、重要性を再認識できた。ため池の防災・減災機能に関する最新の技術的知見や、現場での実践的な取組事例を学ぶことができたので、今後の業務に活かしたい」といった感想を聞くことができました。



< 進藤副会長による情報提供 (Web) >



< 岸氏による特別講演 >

令和7年度 男女共同参画推進大会 in くまもと

11月4日から5日の2日間、熊本県において全国水土里ネット女性の会及びくまもと水土里ネット女性の会の主催による、令和7年度男女共同参画推進大会inくまもとが下記のとおり開催され、全国の女性の会メンバーを中心に、約240名が参加しました。

開会挨拶	くまもと水土里ネット女性の会	会 長	森下 ひとみ
主催者挨拶	全国水土里ネット女性の会	会 長	西 彩
来賓挨拶	九州農政局	次 長	小野寺 慎司
来賓挨拶	熊本県農林水産部	部 長	中 島 豪
来賓挨拶	熊本県土地改良事業団体連合会	会 長	竹 崎 一成
来賓挨拶	都道府県土地改良事業団体連合会	会長会議顧問	進藤 金日子（代理：豊秘書）
基調講演	「やる気スイッチは押しつ押されつ」		
講 師	みやま市農業委員会 会長、山川地区土地改良区 理事		徳 永 順 子
パネルディスカッション	誰もが活躍できる地域農業を目指して ～水土里ネットの挑戦～		
コーディネーター	全国土地改良事業団体連合会	土地改良研究所長	親 泊 安 次
アドバイザー	みやま市農業委員会 会長、山川地区土地改良区 理事		徳 永 順 子
パネリスト	熊本県農林水産部農村振興局農地整備課	課 長（農林水産省）	大 森 直 樹
パネリスト	熊本県土地改良事業団体連合会	理 事	酒 瀬 川 美 鈴
パネリスト	宇城市土地改良区（前くまもと水土里ネット女性の会 会長）		田 尻 千 恵
パネリスト	長崎県土地改良事業団体連合会	理 事	松 本 綾 子
大会決議文朗読	くまもと水土里ネット女性の会	副会長	岡 田 由 紀
閉 会	全国水土里ネット女性の会	副会長	石 川 房 代

基調講演では、長年に渡り地域農業に寄り添い、女性として、組織のリーダーとしての経験を通じて、持続可能な地域農業の在り方について講演いただきました。出席者からは「性別や年齢・経験等、様々な視点より、地域全体で前進することの大切さを学ぶことができた」と感想を聞くことができました。

パネルディスカッションではこれからの農村の在り方等について意見が交わされました。ほ場整備の重要性についても触れており、参加者からは「作業者が多様化する中、誰もが活躍できる環境づくりは農業の持続には必要不可欠であることを強く認識できた。また、地域で学びの場を増やすことが大切だと思った」と感想を聞くことができました。



<くまもと水土里ネット女性の会 森下会長>



<基調講演の様子>

2日目は現地視察として、秋津飯野土地改良区及び熊本城を見学し、平成28年の熊本地震についての当時の被災状況や対応について説明いただきました。秋津飯野土地改良区では「創造的復興」を合言葉に、震災を契機として大区画化を実現したことが大きな成果であるとお話いただきました。参加者からは「意思決定の速さ・復興のための組織作りが未来志向の復旧に繋がったことから、日頃から地域のつながりを強化し、いざというときに迅速に対応できる体制づくりの重要性を認識できた」と感想を聞くことができました。

令和7年度 北陸ブロック水土里ネット女性理事意見交換会

9月18日から19日の2日間、石川県において、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会主催による令和7年度北陸ブロック水土里ネット女性理事意見交換会が開催され、北陸四県の土地改良連合会及び土地改良区女性理事を中心に、約50名が参加しました。

開会挨拶	石川県土地改良事業団体連合会 副会長兼専務理事 前寺 清一
女性活躍推進研修	・土地改良概論 ・土地改良団体における男女共同参画の意義 ・土地改良をとりまく情勢
	全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所長 親泊 安次
質疑応答・意見交換	「普段の仕事について」、「理事になった経緯」、「理事をやって感じたこと」、「土地改良を知ってもらうためには」をテーマに出席理事一人一人による発表
閉 会	

研修は改正土地改良法に基づき、土地改良区の役割、理事の役割・責任等を主題として進められ、参加者からは「理事になって歴が浅く、知識が不足していると感じているため、様々なことを学ぶことができて良かった。理事の役割を理事同士が理解し合い、課題等について共有していくことが大切であることを認識できた」と感想を聞くことができました。

加えて、男女共同参画による幅広い視点を持つことは、組織の体制強化の1つのツールとして大変重要であり、新任となった方々は新しい視点を持ちながら土地改良区の財産を未来に引き継いでいくことが大切であるとの説明がありました。



< 石川県土地改良事業団体連合会 前寺副会長兼専務理事 >



< 全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所 親泊所長 >

意見交換では女性理事登用により、理事会が活性化されたことや、土地改良区の広報の見直しの必要性等について、多くの意見が発表されました。土地改良や関連する様々な制度についてわからないことが多く、戸惑っている一方で、理事になったからには役に立てるよう頑張りたいといった前向きな発言が多く聞かれたことがとても印象的でした。



< 研修会の様子 >



< 2日目現地視察の様子 >

令和7年度 全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会

9月25日～26日の2日間、石川県内において、令和7年度全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会が開催されました。

この研究会は、全国の土地改良施設を管理する土地改良区の職員等を対象に、現在直面している課題や情報交換等を目的としており、関係者約150名が参加しました。

1日目は、金沢東急ホテル(金沢市)にて、研究会が行われました。全国土地改良施設管理事業推進協議会の丸山副会長の挨拶で開会し、石川県の農業農村整備の現状や県内土地改良区の歴史や農業に関する6つの講演、事例発表がありました。

2日目は、現地研修会が行われました。日本海から海水の遡上防止を図るための潮止水門として重要な役割を持つ河北潟放水路防潮水門や現在も大きな爪痕が残る令和6年能登半島地震の被災地を視察しました。

参加した職員からは「全国の土地改良区が直面する施設の老朽化や気候変動への対応等の課題は共通であり、ICTを活用した管理の効率化やストックマネジメントの取組み、管理の高度化・複雑化に対応できる人材を確保・育成し管理技術を継承することが今後の鍵になると実感した」といった感想が聞かれました。

研究会及び現地研修会 概要

9月25日		
内 容	講 師	
主催者挨拶	全国土地改良施設管理事業推進協議会	副会長 丸山 久夫
歓迎挨拶	河北潟干拓土地改良区	理事長 焼田 宏明
来賓挨拶	北陸農政局 石川県農林水産部 部長代理	局長 植野 栄治 参事(農業土木担当) 家元 雅夫
講演①「農業水利施設をめぐる情勢」	農林水産省農村振興局整備部水資源施設保全管理室	室 長 由谷 倫也
講演②「河北潟干拓地における協働による環境保全の取り組み」	NPO法人河北潟湖沼研究所	理事長 高橋 久
特別講演「イオンアグリ創造の取り組み」	イオンアグリ創造株式会社	代表取締役社長 福永 庸明
事例発表①「国営河北潟干拓地について」	河北潟干拓土地改良区	事業管理課長 金田 直樹
事例発表②「国営総合農地防災事業(河北潟周辺地区)の概要」	北陸農政局 河北潟周辺農地防災事務所	次 長 川口 忠儀
報告「能登半島地震の状況について」	石川県土地改良事業団体連合会	副会長兼専務理事 前寺 清一
次期開催地挨拶	栃木県 那須野ヶ原土地改良区連合	専務理事 星野 恵美子
9月26日		
現地研修会	河北潟放水路防潮水門、能登半島地震被災地 ほか	



< 丸山副会長 >



< 植野局長 >



< 会場の様子 >



< 河北潟放水路防潮水門新設工事の説明の様子 >

令和7年度 北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会

9月11日～12日の2日間、TKP金沢カンファレンスセンター(石川県金沢市)において、令和7年度北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会が開催されました。

この研修会は県や県土連の担当職員を対象に、換地に関する異議紛争の未然防止及び早期解決を図ることを目的としており、関係者21名が参加しました。

1日目は全土連の小笠原中央換地センター所長の挨拶で開会し、農林水産省農村振興局土地改良企画課の細貝課長補佐から換地を取り巻く状況について講義が行われた後、福井県土地改良事業団体連合会及び当会の職員から換地関係異議紛争処理事例発表がありました。

2日目は経営体育成促進換地等調整事業等をテーマとして、意見交換が交わされたあと、中央換地センターから換地技術者数調査結果の分析等について情報提供がありました。

参加した本会職員からは「今回から異議紛争処理の事例紹介に加え、国の方々と二重登記(欄外登記)の解消等について意見交換を行った。初めての取組みだったが、非常に有意義なものであった」といった感想が聞かれました。

研修会概要

9月11日	
内 容	説 明 者
主催者挨拶	全国土地改良事業団体連合会中央換地センター 所 長 小笠原 善友
農林水産省挨拶	農林水産省農村振興局土地改良企画課 課長補佐 細 貝 輝
北陸農政局挨拶	北陸農政局農村振興部土地改良管理課 課 長 佐藤 大治郎
来賓挨拶	石川県農林水産部農業基盤課 課 長 高 橋 威 光 石川県土地改良事業団体連合会 副会長兼専務理事 前 寺 清 一
換地を取り巻く状況について	農林水産省農村振興局土地改良企画課 課長補佐 細 貝 輝
換地関係異議紛争処理事例発表① 「土地改良区が苦慮する賦課金未納者の従前地を耕作者へ所有権移転した事例」	新潟県土地改良事業団体連合会換地部換地第1課 課長補佐 剣 持 宗 徳
換地関係異議紛争処理事例発表② 「事業不同意者による異議申し立てと、その対応方法について」	福井県土地改良事業団体連合会事業部土地改良課 主 幹 清 水 章 文

9月12日	
内 容	説 明 者
換地業務に関する意見交換 テーマ:二重登記(欄外登記)の解消について、法務局和紙公図のデータ提供の要望について、経営体育成促進換地等調整事業について	参加者各位
中央換地センター報告 「換地技術者数調査結果の分析について」 「換地関係異議紛争処理実務研修会アンケート 集計結果図化について」	全国土地改良事業団体連合会中央換地センター



< 意見交換会の様子 >



< 会場の様子 >

令和7年度 北陸地区農地集団化促進協議会換地技術者研修会

9月17日、県土連ビル（新潟市）において、令和7年度北陸地区農地集団化促進協議会換地技術者研修会が開催されました。

この研修会は換地の事務を担当する土地改良区や連合会の職員を対象に、土地改良換地士の養成を目的としており、土地改良区や北陸四県土連の職員約20名が参加しました。

本会の本間指導監の挨拶で開会し、全土連の中央換地センターの小笠原所長と平木主査を講師として、土地改良換地士養成対策や過去の試験問題の解答解説についての講義がありました。

また、本研修会のほか、本会の主催による換地士試験の概要や実務講習をテーマとした土地改良換地士養成講習会を3回に分けて開催しました。



< 換地技術者研修会の様子 >

換地技術者研修会

内 容	説 明 者
令和7年度 土地改良換地士育成対策（法令等知識編） 令和6年度 土地改良換地士資格試験問題（知識）・（実務）解答解説	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター 所 長 小笠原 善友 主 査 平 木 琢

土地改良換地士養成講習会

内 容	説 明 者
換地士試験の概要、知識編問題に関する講習（6月20日開催）	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第1課 主 事 加 藤 尚 登
実務編問題に関する講習Ⅰ（7月18日開催）	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第1課 主 事 遠 藤 佑 哉
実務編問題に関する講習Ⅱ（8月22日開催）	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部換地第1課 主 事 室 住 陸 人

令和7年度 秋の叙勲受章者紹介

この度の栄ある受章、誠におめでとうございます。
今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

瑞宝双光章
地方自治
功労



のぐち かずひろ
野口 和広
元 上越市副市長
関川水系土地改良区 理事長
関川地区土地改良区連合 理事長

旭日単光章
土地改良
事業功労



いがらし ぶんきち
五十嵐 文吉
大潟あさひ土地改良区 理事長

連合会日誌

10月 9日 (木)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請	石川県
15日(水)～16日(木)	第47回 全国土地改良大会 佐賀大会	佐賀県
20日 (月)	新潟県への要請活動	新潟市
	本会臨時理事会	県土連ビル
23日(木)～24日(金)	2025ため池フォーラムinひろしま	広島県
27日(月)～28日(火)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請	東京都
30日 (木)	農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会	県土連ビル
11月 4日(火)～5日(水)	令和7年度 男女共同参画推進大会inくまもと	熊本県
6日 (木)	令和7年度 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 総務部会・設計部会	石川県
12日 (水)	本会監事会	県土連ビル
25日 (火)	本会臨時総会	県土連ビル
26日 (水)	農業農村整備の集い	東京都
26日(水)～27日(木)	令和7年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会	県土連ビル
28日 (金)	北陸農政局管内農業農村整備担当課長等会議(第2回)及び新たな土地改良長期計画地方説明会	石川県
12月 2日 (火)	令和7年度 土地改良区運営基盤強化推進研修	県土連ビル
5日 (金)	本会理事会	県土連ビル
15日 (月)	令和7年度 土地改良区(連合)役職員合同研修会	新潟市

表紙写真紹介



作品名「越後平野を翔ぶサギ」

おおた きぬか
太田 衣郁さん(新潟県新潟市・小学5年生)

表紙の作品は「未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展2025」において、新潟市内の小学校に通う太田衣郁さんが描いた作品です。

作品には、眼前に広がる越後平野の上空を優雅に翔ぶサギが描かれており、良好な景観や自然環境の保全といった農村が持つ様々な役割を改めて認識することができます。



未来の「水」「土」「里」を創造する

